

医療行動科学 2 : 602-2-DP1・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
2年次	通年	*内田 貴之 (歯科総合診療学)

学修目標 (GIO) と単位数	<p>単位数：2単位</p> <p>【前学期】医療倫理学 本講義は、医学・歯学の進歩、疾病構造と医療構造の変化、そして国民の保健・医療全般にわたる意識の向上と価値観の多様化などの社会状況の変化に十分対応するために必要な知識と医の倫理を身につけることにある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の権利を熟知し、その現状と問題点を理解する。 ・医の倫理と生命倫理の歴史的背景と諸問題を理解する。 ・医の倫理に関する規範・国際的規範を理解する。 ・医療・歯科医療および医学・歯学研究における倫理の重要性を理解する。 ・歯科医師の義務と責任に関する基本的な知識、態度および考え方を理解する。 ・医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズムを理解する。 ・基本的人権の尊重について理解する。 ・医療事故は日常的に起こりうる事を認識し、安全で信頼される医療の提供について理解する。 ・社会状況の変化と医療の関わりを理解する。 ・日本人の死生観について理解する。 <p>【後学期】医療心理学 医療は単に疾患だけを診るのではなく、生物・心理・社会的存在、すなわち、ひとりの人間としての患者を理解し、治療にあたる全人的医療の必要性が今日求められている。慢性疾患や生活習慣病の治療と予防、心身症、障害者、訪問診療など心理学的知識を必要とする健康問題はますます増加の一途をたどっているのが現状である。</p> <p>心理学はギリシャの哲学にさかのぼる伝統的な学問であるが、近年では実証科学として心に関する法則を得ようとしている。「心の科学」あるいは「行動の科学」と呼ばれており、人間の心や行動、対人関係などについて明らかにしようとする学問である。例えば、人間の知覚や認知、記憶や思考、感情や情動などの心的活動は言語的表現、表情やしぐさにあられ、生理反応として生じる。そのために心理学は行動科学とも称される。</p> <p>「ヒトの行動と心理」、すなわち「医療心理学」は、行動、価値観や態度といった情意領域に関して、将来の歯科医療を施行する医療人としての行動基盤とした「心理学的な見方」を習得することに目標をおいている。</p>		
担当教員	*内田 貴之、*多田 充裕、*遠藤 弘康、*青木 伸一郎、*山口 秀紀、後藤田 宏也、近藤 信太郎、*蛭名 直美、大沢 聖子		
教科書	「歯科医療面接アートとサイエンス (改訂版)」 伊藤孝訓 編著 砂書房 講義内容に関連した資料を配布する		
参考図書	<p>「入門・医療倫理Ⅰ」 赤林 朗 編集 劉草書房</p> <p>「すぐに役立つ外来での患者対応学」 飯島克巳 著 永井書店</p> <p>「歯科医療人間科学へのいざない」 新庄文明、山崎久美子、俣木志朗 監訳 医歯薬出版</p> <p>「グラフィック認知心理学」 森 敏昭、井上 毅、松井孝雄 共著 サイエンス社</p> <p>「グラフィック社会心理学 (第2版)」 池上知子、遠藤由美 共著 サイエンス社</p> <p>その他、随時紹介する。</p>		
実習器材	事例検討はパソコンを使用する。		
評価方法 (EV)	講義：授業時間内に行う平常試験 (60%)、制作物・体験学習レポート (30%)、受講態度 (10%) をもって総合評価 (最終評価) する。 平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の措置を講じることがある。 受講態度は出席することが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。 授業時間数の1/5以上を欠席した場合、成績評価は0~60点とする。		
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>【前学期】医療倫理学 本講義は、歯科ではあまり遭遇しない生命倫理的問題を含む事例を提供するので、十分に理解を深め、自らの倫理観を確立して行ってください。さらに、他者の価値観を共感をもって受け入れ、尊重できる柔軟な心を養うよう取り組んで下さい。</p> <p>【後学期】医療心理学 より良い患者-医療者関係を構築するには、人の行動の背景心理である医療行動科学を学ぶ必要があります。その基盤となるのが心理学です。この講義を通して、そのメカニズムの基本について考えてみましょう。心理学の専門家の講義が含まれますので積極的に学んで下さい。</p> <p>E-mail (shindan.md.ml @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。</p>		

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/04/11 (月) 3時限 13:40~15:10	ガイダンス プロフェッショナル リズム	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために医療倫理学を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 本講義の意義、目的、講義、内容、学習の仕方を説明できる。 3. 他者との接し方、態度教育の必要性を説明できる。 	*内田 貴之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/04/11 (月) 3時限 13:40～15:10	ガイダンス プロフェッショナル リズム	4. 医療プロフェッショナリズムについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SB0sの項目を調べる。 倫理学とは、についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療（インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 b 患者の権利 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 ④歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任（刑事責任、民事責任、歯科医師法に基づく行政処分）を説明できる。 ⑤患者に最も適した歯科医療を勧めるとともに、代替する他の方法についても説明できる。	*内田 貴之
2022/04/18 (月) 3時限 13:40～15:10	歯科医師の法的義務	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために歯科医師の法的義務を修得する。 【行動目標（SB0s）】 1. 患者に対する歯科医師の法的義務を説明できる。 2. 健康の概念について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SB0sの項目を調べる。 医療者の責務についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 b 医療法 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 a 歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工士法 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 B-2 健康と社会、環境 B-2-1) 歯科医師法・歯科医療関連法規 ①歯科医師法を説明できる。 ②医療法を概説できる。 ③歯科衛生士法と歯科技工士法を説明できる。	後藤田 宏也
2022/04/25 (月) 3時限 13:40～15:10	患者の権利と尊厳	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために患者の権利と尊厳を修得する。 【行動目標（SB0s）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医の倫理と生命倫理の歴史的経過と諸問題を説明できる。 3. 医の倫理に関する規範・国際規範を説明できる。 4. 基本的人権の尊重について概説できる。 5. 患者が自己決定出来ない場合の対応を説明できる。	*多田 充裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/04/25 (月) 3時限 13:40～15:10	患者の権利と尊厳	<p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 患者の望む医療者の態度についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム</p> <p>ア 医の倫理、生命倫理</p> <p>a 患者の人権と医療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム</p> <p>ア 医の倫理、生命倫理</p> <p>b 医療者の論理（ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言など）</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力</p> <p>A-1 プロフェッショナリズム</p> <p>A-1-1 医の倫理と生命倫理</p> <p>①医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。</p> <p>②医の倫理に関する規範・国際規範（ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等）を概説できる。</p>	*多田 充裕
2022/05/02 (月) 3時限 13:40～15:10	医療倫理実践のためのコミュニケーション① ー医療倫理の考え方ー	<p>【授業の一般目標】</p> <p>全人的歯科医療を実践するために医療倫理の考え方を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」</p> <p>2. Jonsen の「臨床倫理の4分割法」を説明できる。</p> <p>3. 倫理的課題について解決する方法を実践できる。</p> <p>4. コンプライアンスの重要性を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 基本的な問題解決法についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム</p> <p>イ 歯科医師と患者・家族との関係</p> <p>b 患者の権利</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム</p> <p>ア 医の倫理、生命倫理</p> <p>a 患者の人権と医療</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力</p> <p>A-1 プロフェッショナリズム</p> <p>A-1-3 歯科医師としての責務と裁量権</p> <p>①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。</p> <p>②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。</p> <p>③医療サービスの特殊性（情報の非対称性・医療の不確実性）や治療の限界を説明できる。</p> <p>⑤患者に最も適した歯科医療を勧めるとともに、代替する他の方法についても説明できる。</p>	*遠藤 弘康
2022/05/09 (月) 3時限 13:40～15:10	医療倫理実践のためのコミュニケーション② ー他文化圏のインフォームド・コンセントー	<p>【授業の一般目標】</p> <p>全人的歯科医療を実践するために他文化圏のインフォームド・コンセントに関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」</p> <p>2. IC の定義と重要性を説明できる。</p> <p>3. 歯科医師の裁量権と患者の自己決定権について説明できる。</p> <p>4. IC の法的義務について説明できる。</p> <p>5. 患者説明を行うための適切な時期・環境を説明できる。</p> <p>6. 説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮する必要性について説明できる。</p>	*多田 充裕 大沢 聖子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/05/09 (月) 3時限 13:40～15:10	医療倫理実践のためのコミュニケーション② ー他文化圏のインフォームド・コンセントー	7. 医学と歯学の医療における違いを概説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 インフォームド・コンセントについてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・シネエデュケーション「米国におけるIC」のVTRを視聴し、レポートをまとめる。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療（インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 b 患者の権利 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2) 患者中心の視点 ①患者の権利を説明できる。 ②患者の自己決定権を説明できる。 ③患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。	*多田 充裕 大沢 聖子
2022/05/16 (月) 3時限 13:40～15:10	歯科医療の安全性への配慮と危機管理	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために医療の安全性の保証を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 適切な医療に求められる要件について説明できる。 3. 医療の安全性への配慮と評価について説明できる。 4. 医療事故の原因となる因子について説明できる。 5. 医療危機管理（リスクマネジメント）について説明できる。 6. 歯科医療の安全対策について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：人間のエラーについてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 オ 医療事故の防止 e 医療危機管理〈リスクマネジメント〉 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 オ 医療事故の防止 a 医療事故と医療過誤 b 医療事故の発生要因 c 患者の安全管理（誤飲、誤嚥、誤薬、出血、外傷、感染、被曝、目の保護） f ヒヤリハット、アクシデント、インシデント、医療事故報告書、インシデントレポート g 医療安全対策（医薬品・医療機器の安全管理） 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-6 医療の質と安全管理 A-6-1) 安全性の確保 ①医療上の事故等の発生要因（ヒューマンエラー、システムエラー等）を説明できる。 ②医療上の事故等に対する防止策を説明できる。 ③医療現場における報告・連絡・相談及び診療録記載の重要性を説明できる。 A-6-2) 医療上の事故等への対処と予防	*山口 秀紀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/05/16 (月) 3時限 13:40～15:10	歯科医療の安全性への配慮と危機管理	①医療事故と医療過誤の違いを説明できる。	*山口 秀紀
2022/05/23 (月) 3時限 13:40～15:10	歯科医師の責務と裁量権① 一医療と研究に関する倫理一事例検討	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために倫理事例の検証法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療と研究における倫理的問題を説明できる。 3. 自己決定権を尊重した医師-患者関係のあり方を説明できる。 4. 臨床倫理の考え方としての「臨床倫理の4分割表」について実践できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 患者の人権についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・事例検討をグループディスカッションで行う。 パソコン持参。スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 b 患者の権利</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2) 患者中心の視点 ①患者の権利を説明できる。 ②患者の自己決定権を説明できる。 ③患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。</p>	*遠藤 弘康 大沢 聖子
2022/06/03 (金) 2時限 11:10～12:40	平常試験1・解説講義	<p>【授業の一般目標】</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>【学修方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p>	*内田 貴之 *遠藤 弘康 大沢 聖子
2022/06/06 (月) 3時限 13:40～15:10	歯科医師の責務と裁量権② 一生と死に関する倫理一事例検討	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために生と死に関する倫理を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 尊厳死、安楽死における倫理的問題を説明できる。 3. ターミナル・ケア (終末期医療) について説明できる。 4. 癌の告知と患者心理について説明できる。 5. リビング・ウィル (生前発効遺言) について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 患者の人権についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・事例検討をグループディスカッションで行う。 パソコン持参すること。スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p>	*遠藤 弘康 大沢 聖子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/06/06 (月) 3時限 13:40~15:10	歯科医師の責務と裁量権② 一生と死に関する倫理—事例検討	<p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 b 患者の権利</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-1) 医の倫理と生命倫理 ③臨床 (生と死に関わる問題を含む) に関する倫理的問題を説明できる。 A-1-2) 患者中心の視点 ①患者の権利を説明できる。 ②患者の自己決定権を説明できる。 ③患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。</p>	*遠藤 弘康 大沢 聖子
2022/06/13 (月) 3時限 13:40~15:10	歯科医師の責務と裁量権③ 一 歯科医療に関する倫理—事例検討	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために歯科医師の責務と裁量権 (歯科医療に関する倫理) を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 歯科医療施行の際にみられる倫理的葛藤の例を列挙できる。 3. 患者から求められる適切なIC について説明できる。 4. 適切な説明の仕方の条件を列挙できる。 5. 事例に応じたジレンマを整理する過程を概説できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 患者の人権と歯科医療についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・事例検討をグループディスカッションで行う。パソコン持参すること。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 b 患者の権利</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2) 患者中心の視点 ①患者の権利を説明できる。 ②患者の自己決定権を説明できる。 ③患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。</p>	*遠藤 弘康 大沢 聖子
2022/06/20 (月) 3時限 13:40~15:10	歯科医師の責務と裁量権④ 一 歯科医療に関する倫理—事例検討	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために歯科医師の責務と裁量権 (歯科医療に関する倫理) を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 歯科医療施行の際にみられる倫理的葛藤の例を列挙できる。 3. 患者から求められる適切なIC について説明できる。 4. 適切な説明の仕方の条件を列挙できる。 5. 事例に応じたジレンマを整理する過程を概説できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 患者の人権と歯科医療についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p>	*遠藤 弘康 大沢 聖子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/06/20 (月) 3時限 13:40～15:10	歯科医師の責務と裁量権④ 一歯科医療に関する倫理－事例検討	有・事例検討をグループディスカッションで行う。パソコン持参すること。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 b 患者の権利 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2) 患者中心の視点 ①患者の権利を説明できる。 ②患者の自己決定権を説明できる。 ③患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。	*遠藤 弘康 大沢 聖子
2022/06/27 (月) 3時限 13:40～15:10	医学系研究における健全な研究活動のあり方	【授業の一般目標】 研究者の社会的責任を理解し、健全な研究活動のあり方を学修する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 社会における研究行為の責務を説明できる。 2. 利益相反を説明できる。 3. 個人情報保護を説明できる。 4. 研究不正行為を説明できる。 5. 科学研究の質的向上には何が必要かを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 日本学術振興会編「科学の健全な発展のために」を通読する。 下記URLからテキスト版をダウンロードすることができる。 https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 b 医療者の論理 (ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言など) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 13 一般教養の事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-1) 医の倫理と生命倫理 ④医学に関する倫理的問題を説明できる。 ⑥研究を、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行うよう配慮できる。	近藤 信太郎
2022/07/04 (月) 3時限 13:40～15:10	国民から望まれる歯科医師像	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために国民から望まれる歯科医師像を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 国が求める歯学教育について概説できる。 3. 歯科治療の需要について概説できる。 4. 患者が持つ良い医療者のイメージについて概説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 歯科医療に対する患者の要望についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分	*多田 充裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/04 (月) 3時限 13:40～15:10	国民から望まれる 歯科医師像	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 b 医療者の論理 (ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言など)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-1) 医の倫理と生命倫理 ①医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 ②医の倫理に関する規範・国際規範 (ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等) を概説できる。 ③臨床 (生と死に関わる問題を含む) に関する倫理的問題を説明できる。</p>	*多田 充裕
2022/07/11 (月) 3時限 13:40～15:10	医療倫理実践のためのコミュニケーション③ 一患者中心の医療 と医療面接一	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために医療倫理を重視した患者中心の医療と医療面接を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者・家族との信頼関係を築くことの重要性を説明できる。 3. 個人的、社会的背景が異なる患者に、わけへだてなく対応するスキルを説明できる。 4. 患者の価値観が多様であることを認識し説明できる。 5. 病状や治療法について説明する際のスキルを列挙できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 人間関係におけるコミュニケーションの重要性についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。</p>	*青木 伸一郎
2022/07/25 (月) 3時限 13:40～15:10	医療倫理実践のためのコミュニケーション④ 一倫理的ジレンマ について考える一	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために倫理的ジレンマに関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 倫理的ジレンマを説明できる。 3. 尊厳死について説明できる。 4. 医療者と患者の立場を説明できる。 5. 考えをまとめて文章で論述できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 人生の終末期についてネットで調べ自習する。</p>	*多田 充裕 大沢 聖子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/25 (月) 3時限 13:40～15:10	医療倫理実践のためのコミュニケーション④ 一倫理的ジレンマについて考える一	<p>・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・終末期医療に関するビデオを視聴しレポートにまとめる。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療（インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 ③医療サービスの特殊性（情報の非対称性・医療の不確実性）や治療の限界を説明できる。 ④歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任（刑事責任、民事責任、歯科医師法に基づく行政処分）を説明できる。 ⑤患者に最も適した歯科医療を勧めるとともに、代替する他の方法についても説明できる。</p>	*多田 充裕 大沢 聖子
2022/08/26 (金) 2時限 11:10～12:40	平常試験2・解説講義	<p>【授業の一般目標】</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>【学修方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第2実習室</p>	*内田 貴之 *遠藤 弘康 大沢 聖子
2022/09/12 (月) 2時限 11:10～12:40	医療と心理学	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために心理学の役割を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 「医療心理学」について説明できる。 3. 人の行動と心理について説明できる。 4. 歯科医学における心理学の役割を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 e 患者・障害者の心理と態度</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ア 診察のあり方 b 心理社会的側面（プライバシー、尊厳）・苦痛への配慮 ウ 医療面接 a 意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加） 13 一般教養的事項</p> <p>イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般</p>	*多田 充裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/12 (月) 2時限 11:10~12:40	医療と心理学	<p>教養的知識や考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ⑦人の行動と心理及び健康行動を概説できる。</p>	*多田 充裕
2022/09/20 (火) 2時限 11:10~12:40	ストレスと健康	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するためにストレスと健康を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. ストレスが招く心の病について説明できる。 3. 患者の不安、ストレスと心理について説明できる。 4. ストレスとのつきあい方について概説できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 ストレスについてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室、第2 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項</p> <p>イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ア 診察のあり方 b 心理社会的側面 (プライバシー、尊厳) ・苦痛への配慮 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 1 全身の症候 キ 心理、精神機能 総論Ⅶ 治療 9 その他の治療法 コ 精神療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-3) 精神・心身医学的疾患 ⑥心身医学的治療を説明できる。</p>	*多田 充裕
2022/09/26 (月) 2時限 11:10~12:40	知覚・記憶	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために認知心理学の知覚・記憶についてを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 知覚について説明できる。 2. 認知について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 心理学とは、ネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・ミニッツペーパーとWebによる教材を視聴する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室、第2 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項</p> <p>イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 e 患者・障害者の心理と態度</p>	蝦名 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/26 (月) 2時限 11:10～12:40	知覚・記憶	<p>4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ⑦人の行動と心理及び健康行動を概説できる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑤診療室における患者の心理と行動を説明できる。</p>	蝦名 直美
2022/10/03 (月) 2時限 11:10～12:40	学習と応用行動分析 (ABA)	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために学習心理と応用行動分析 (ABA) を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 学習心理について説明できる。 2. 応用行動分析 (ABA) について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 学習心理に含まれる項目について、ネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・ミニッツペーパーとWebよる教材を視聴する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 e 患者・障害者の心理と態度 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ⑦人の行動と心理及び健康行動を概説できる。</p>	蝦名 直美
2022/10/17 (月) 2時限 11:10～12:40	認知 (態度変容)	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために態度変容を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 態度変容について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 態度変容についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・ミニッツペーパーとWebによる教材を視聴する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p>	蝦名 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/17 (月) 2時限 11:10~12:40	認知 (態度変容)	<p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 3 一般教養的事項</p> <p>イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 b QOL <quality of life> e 患者・障害者の心理と態度 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。</p>	蝦名 直美
2022/10/24 (月) 2時限 11:10~12:40	動機づけ・感情	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために動機づけと感情を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 動機づけについて説明できる。 2. 感情について説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 動機づけと感情についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・ミニッツペーパーとWebによる教材を視聴する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 3 一般教養的事項</p> <p>イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 a 多職種連携 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み ア 健康・疾病・障害の概念 c 社会環境の変化</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-5 チーム医療の実践 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-4) 環境と健康 ①環境による健康への影響を説明できる。</p>	蝦名 直美
2022/10/31 (月) 2時限 11:10~12:40	災害心理	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために災害心理学を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 災害時の心理と行動について説明できる。 2. 喪失に伴う悲嘆反応について説明できる。 3. 災害による心理的ダメージのケアについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：災害心理についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p>	蝦名 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/31 (月) 2時限 11:10～12:40	災害心理	<p>有・ミニッツペーパーとWebによる教材を視聴する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 一般教養の事項</p> <p>イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 b QOL <quality of life> e 患者・障害者の心理と態度 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 ⑨災害時の歯科医療の必要性を説明できる。</p>	蝦名 直美
2022/11/07 (月) 2時限 11:10～12:40	平常試験3・解説 講義	<p>【授業の一般目標】</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>【学修方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p>	*内田 貴之 *青木 伸一郎 大沢 聖子
2022/11/14 (月) 2時限 11:10～12:40	パーソナリティ	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するためにパーソナリティを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 性格、パーソナリティについて説明できる。 2. コミュニケーションスタイルについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 性格と気質についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容などの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 一般教養の事項</p> <p>イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 e 患者・障害者の心理と態度 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 9 診察の基本 ア 診察のあり方 b 心理社会的側面 (プライバシー、尊厳)・苦痛への配慮</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力</p>	大沢 聖子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/11/14 (月) 2時限 11:10～12:40	パーソナリティ	A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑤診療室における患者の心理と行動を説明できる。	大沢 聖子
2022/11/21 (月) 2時限 11:10～12:40	心理検査	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために心理検査を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. ストレスについて説明できる。 3. 心理検査、自己分析の演習ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 心理検査の種類についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・心理検査を体験する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 ア 意義と目標 c スクリーニング、医療情報の収集</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ア 診察のあり方 b 心理社会的側面 (プライバシー、尊厳)・苦痛への配慮</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑥診断に必要な検査を列挙できる。 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-3) 精神・心身医学的疾患 ③心理テストの目的と意義を説明できる。</p>	*青木 伸一郎 大沢 聖子
2022/11/28 (月) 2時限 11:10～12:40	判断とエラー	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために判断とエラーの思考を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 注意について概説できる。 3. 判断にまつわるエラーの種類について説明できる。 4. 判断の心理学的背景について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 判断のエラーについてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 e 患者・障害者の心理と態度 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 9 診察の基本 ア 診察のあり方</p>	*青木 伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/11/28 (月) 2時限 11:10~12:40	判断とエラー	<p>b 心理社会的側面（プライバシー、尊厳）・苦痛への配慮</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2) 患者中心の視点 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑤診療室における患者の心理と行動を説明できる。</p>	*青木 伸一郎
2022/12/05 (月) 2時限 11:10~12:40	対人行動	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために対人行動を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 対人行動について説明できる。 3. メタ認知について説明できる。 4. 行動に関わる心理を説明できる 5. 行動変容について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 対人行動についてネットで調べ自習する ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応） c 聴取事項（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。</p>	*青木 伸一郎
2022/12/12 (月) 2時限 11:10~12:40	高齢者の心理とケア	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために高齢者の心理とケアを修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 高齢者の心理について説明できる。 2. ケアの心理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 高齢者の心理についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・ミニッツペーパーとWebによる教材を視聴する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 3 高齢者等に関連した臨床評価・診断・治療計画 ア 全身状態の評価 c 心理</p>	蝦名 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/12/12 (月) 2時限 11:10~12:40	高齢者の心理とケア	<p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 b QOL <quality of life> イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 f 地域包括ケアシステム</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-1) 高齢者の歯科治療 ①高齢者の生理的、心理的及び行動的特徴を説明できる。 ②高齢者に多く見られる疾患及び服用している薬物を説明できる。</p>	蝦名 直美
2022/12/19 (月) 2時限 11:10~12:40	対人コミュニケーション	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために対人コミュニケーションを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 言語的コミュニケーションについて列挙できる。 3. 非言語コミュニケーションについて列挙できる。 4. コミュニケーションエラーについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 コミュニケーションの方法についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナルリズム A-1-2) 患者中心の視点 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p>	*青木 伸一郎
2023/01/16 (月) 2時限 11:10~12:40	ヘルスコミュニケーション	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するためにヘルスコミュニケーションを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 情報提供に重要なコミュニケーションについて説明できる。 3. 健康教育に関するコミュニケーションについて説明できる。 4. リスクコミュニケーションについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 患者と医師の違いについてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p>	*青木 伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/01/16 (月) 2時限 11:10~12:40	ヘルスコミュニケーション	<p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応） c 聴取事項（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。</p>	*青木 伸一郎
2023/01/23 (月) 2時限 11:10~12:40	平常試験4・解説講義	<p>【授業の一般目標】</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>【学修方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第2実習室</p>	*内田 貴之 *青木 伸一郎 大沢 聖子